

「伝統の継承と革新 歌舞伎座百三十年の掉尾を飾る話題の舞台」

昼の部 (午前11時開演)

【幸助餅】心に沁みる上方の人情喜劇

桜が咲き誇る大坂の花街新町。餅米問屋の幸助は、最員の力士雷(かみづか)に入れ揚げたため財産を失い、今は住しい長屋住まい。ついには妹のお袖を廊へ身売りさせるほど切迫しますが、その金で店を再興しようと奮起します。

お袖のお蔭で工面できた三十両の金を受け取った帰り道、幸助は大関となって見違えるほど立派になった雷と再会。雷から感謝の言葉をかけられて嬉しくなった幸助は、大事な三十両を祝儀として渡してしまいます。それを知った女房のおきみと叔父の五左衛門は幸助を説得、雷から金を返してもらおうよう申し出た幸助でしたが…。

松竹新喜劇の傑作を歌舞伎の世話物として再構築した作品で歌舞伎座では初の上演。人情味に溢れ、心温まる物語をお楽しみください。

【お染の七役】美しい女方が魅せる思もつかせぬ早替り

質店油屋の娘お染は、丁稚久松と言ひ交した深い仲。しかしお染の母貞昌は、身代が傾き出した油屋を立て直すためお染と山家屋清兵衛との縁談話を進めています。一方の久松は、油屋に奉公していますが実はお光という許嫁もいる武家の子息。紛失した家の重宝「午王吉光」の刀と折紙を探しています。

刀と折紙は鬼門の喜兵衛によって盗み出され油屋に質入れされていますが、お染の兄多三郎が、芸者小糸を身請けするために折紙を店から持ち出します。一方、久松の姉の奥女中竹川も弟の身を案じ、刀を買い戻すための百両の工面を、土手のお六に頼みます。しかしお六は亭主の喜兵衛と油屋から金をだまし取ろうと画策しており…。

年齢、性格が異なる多彩な役柄七役を、次々と演じ分けるのが見どころです。目まぐるしい早替りと鶴屋南北独特の世話場、また常磐津による所作事と江戸の庶民の姿を見事に描写した「お染久松物」の名作にご期待ください。

夜の部 (午後4時30分開演)

【阿古屋】(A・Bプロ) 目にも耳にも麗しい豪華な女方屈指の名作

平家滅亡後、平家の武将悪七兵衛景清の行方を問ひ質すため、景清の愛人である遊君阿古屋が問注所に引き出されます。景清の所在を知らないという阿古屋を岩永左衛門は拷問にかけようとしませんが、詮議の指揮を執る重忠は、阿古屋に琴、三味線、胡弓を弾かせることで心の内を推し量ろうとします。言葉に嘘があるならば、調べに乱れが表れるとされるなか、阿古屋は…。

阿古屋は三曲を実際に演奏しながら微細な心情を表現する女方の大役。音曲と共に華やかな舞台をご堪能ください。

【あんまと泥棒】(A・Bプロ) 笑いを誘う対話の妙

ある夜更け、あんまの秀の市の家に泥棒の権太郎が現れます。権太郎は刃物で脅し金を出すよう迫りますが、秀の市はのらりくらりと要求をかわし、そのうち二人は酒を飲み始めると、いつの間にか立場が逆転し…。

NHKで放送されたラジオドラマの脚本を元に舞台化した、二人の台詞のやりとりとしたたかな人物描写に可笑しみ漂うユーモラスな舞台をお楽しみください。

【二人藤娘】(Aプロ) 娘姿の藤の精による幻想的な舞踊

松の大木からむ藤の花のもとに、美しい娘姿の藤の精が現れ、男のつれなさを嘆いた娘の恋心を艶やかに踊ります。さらに、酔態を見せながら恋の切なさを語ると、やがて日が暮れ、いつしかその姿を消すのでした。

二人の藤の精による可憐な舞踊をご覧ください。

【傾城雪吉原】(Bプロ) 雪景色の中優美に舞う傾城

雪が降りしきる中、美しい傾城が豪華絢爛な衣裳を身に纏い、恋する人への想いを募らせながら、四季の風情を踊ります。

傾城が雪景色の中、古風な趣と格式を魅せる幽艶な舞踊。この度初の上演となる新作歌舞伎舞踊にご期待ください。

(平成三十年十二月)

※夜の部は、Aプロ・Bプロがございます。日程により演目の一部と、配役が異なりますのでご注意ください。

12月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
夜の部	A	A	B	B	A	A	B	B	A	A	B	A	A	B	B	A	A	B	A	A	B	B	A	B	A

- Aプロ : 一、阿古屋(遊君阿古屋-玉三郎、岩永左衛門-松 緑) 二、あんまと泥棒 三、二人藤娘
 Bプロ◇ : 一、阿古屋(遊君阿古屋-梅 枝、岩永左衛門-玉三郎) 二、あんまと泥棒 三、傾城雪吉原
 ◆ : 一、阿古屋(遊君阿古屋-兎太郎、岩永左衛門-玉三郎) 二、あんまと泥棒 三、傾城雪吉原

場内サービスのご案内

- ◎ご観劇に関するお問い合わせは 歌舞伎座 TEL 03-3545-6800(代表)
- ◎切符売場は歌舞伎座地下2階木挽町広場がございます。
営業時間は午前10時～午後6時までとなります。
- ◎切符預かり所 ご入場券のお預けは劇場正面向かって右側の窓口でお受け致します。
- ◎お食事のご予約とお問い合わせは *ご予約はご観劇の2日前まで承っております。
お食事処予約: 歌舞伎座サービス TEL 03-3545-6820(10:00~17:00)
折詰のお問い合わせ: お弁当処やぐら TEL 03-3545-6576(10:00~18:00)

- ◎ご観劇のお供に、イヤホンガイドと字幕ガイドがございます。
○イヤホンガイド ご使用料 700円(一巻見席でのご利用は 500円)※保証金は1台につき1,000円です。
○字幕ガイド ご使用料 日本語版/英語版 1台 1,000円
(ご利用時に携帯電話番号、または松竹歌舞伎会会員番号をご登録いただくか、身分証のご提示を願います。英語版の字幕ガイドをご利用時には、携帯電話番号をご登録いただくか、代わりにIDカードをお預かりさせていただきます)
※一巻見席でのご利用は ご使用料 日本語版/英語版 1台500円 保証金は1台につき1,000円です。
お問い合わせ: 株式会社イヤホンガイド TEL 03-3546-0265

歌舞伎座 イベント託児サービスのご案内

ご予約、お問い合わせ先

- 株式会社マザーズ (イベント託児サービス委託会社)
- マザーズ・フリーコール 0120-788-222 (平日 10:00~12:00/13:00~17:00)

■実施日 昼の部 12日(水) 18日(火)
夜の部 7日(金) 13日(木) 23日(日・祝)

歌舞伎座ギャラリー (歌舞伎座タワー5階)

空前絶後の歌舞伎ワンダーランドが出現!!

平成歌舞伎三十年博

好評開催中

- 開館時間 10:00~17:30 [最終入館17:00]
- イベント開催などの為、休館や開館時間変更の場合があります。
- 通常入場料金は600円
- 特別入場料金は1,000円 [イヤホンガイドコース]
- 切符取扱 = 歌舞伎座ギャラリー前 切符売場 (歌舞伎座タワー5F)

※当月の歌舞伎座ご観劇券 (当日見券) ご提示で 600円 → 500円

東京都中央区銀座4-12-15 歌舞伎座タワー5F お問い合わせ: TEL 03-3545-6886